



7



5

『2023FIM世界耐久選手権 "コカ・コーラ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース第44回大会』初出場&完走!



1

ゲズンハイト レーシング  
GESUNDHEIT Racing  
RIDE ON MAKINOHARA EJ

夢舞台を疾走



10



9



8



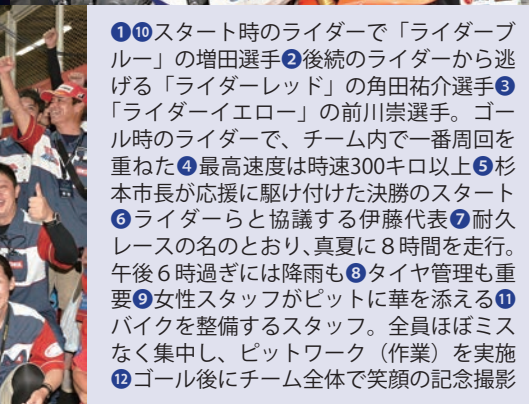
3



2



12



11

①⑩スタート時のライダーで「ライダーブルー」の増田選手②後続のライダーから逃げる「ライダーレッド」の角田祐介選手③「ライダーイエロー」の前川崇選手。ゴール時のライダーで、チーム内で一番周回を重ねた④最高速度は時速300キロ以上⑤杉本市長が応援に駆け付けた決勝のスタート⑥ライダーらと協議する伊藤代表⑦耐久レースの名のとおり、真夏に8時間を走行。午後6時過ぎには降雨も⑧タイヤ管理も重要⑨女性スタッフがピットに華を添える⑩バイクを整備するスタッフ。全員ほぼミスなく集中し、ピットワーク（作業）を実施⑫ゴール後にチーム全体で笑顔の記念撮影



11



4



◀完走したバイク

走行したバイクなどを展示します 🏍️

鈴鹿8耐を走行した実際のバイクを見ることが出来ます。汚れや傷など、過酷なレースで完走の証が刻まれたバイクをぜひご覧ください。

- 展示場所 新東名高速道路NEOPASA清水 飲食スペース付近
- 展示期間 9月1日(日)~30日(日) (1カ月間)
- 展示予定品 バイク2台 (走行車両1台、予備車両1台)、ピットパーテーション



鈴鹿8耐を完走したライダーに贈られる記念のメダル

国内最高峰のオートバイレース、通称「鈴鹿8耐」が8月4日から6日まで鈴鹿サーキット（三重県）で開催され、市内のレーシングチーム「ゲズンハイト」（菅山区）が初出場で完走しました。

4日 から5日まで予選が行われ、同チームは出場全50チーム中、40位で突破。6日の決勝は、午前11時30分に全チームが一斉にスタートし、ゲズンハイトはスタートライダーの増田雄基選手（菅山区）が3周目で35位まで順位を上げる最高の出だしに。32周目に転倒し、バイクが走行不能となるアクシデントが発生。チーム一丸となり、1時間以上を要してバイクを修復し、レースに復帰。一時47位まで後退しましたが、45位でゴール（周回数163周・規定周回数162周）となり、初出場での完走率は3割程度といわれている中、見事に完走しました。（レース後1チームが失格し、最終順位は44位）

伊藤 藤章人代表は、「スタッフ誰一人が欠けても完走できなかった。8耐への参戦は夢で初出場完走が目標だったが、今後も参戦し、内容にもこだわりたい」と次なる夢を語ってくれました。

\*鈴鹿8耐 … 1チーム2、3人のライダーが1台のバイクを用いて、1周5.8キロのコースを8時間の間で多くの周回数を競う耐久レース。夏の鈴鹿の風物詩といわれている。

【取材協力、写真提供】ゲズンハイト



07-24

44

Suzuka 8 hours 2023